

「海からの獣」

黙 13：1～10

1. はじめに

(1) キリストの再臨の前に何が起こるかを見ている。

①10章～14章は、挿入箇所である。

\*物語の進展はなく、状況の説明が入る。

\*7章と同じである。

②今私たちは、12章～13章を取り上げている。

(2) 12章～13章に登場する7人の主役たち（大患難時代の後半）

①ひとりの女：イスラエルの象徴

②赤い竜：サタンの象徴

③男の子：キリストの象徴

④ミカエル：天使長

⑤女の子孫の残りの者：レムナント、眞の信仰者たち

⑥海から上って来た獣：反キリスト

⑦地から上って来た獣：偽預言者

(3) きょうの箇所で、大患難時代における最も重要な人物が登場する。

①海から上って来た一匹の獣とは、反キリストのことである。

②黙示録では、反キリストは獣として描写されている（32回）。

③キリストと反キリストが対比されている。

\*「Anti」とは、「○○に代わって」とか「○○に敵対して」という意味。

\*キリストは小羊であるが、反キリストは獣である。

\*キリストは罪人を救うが、獣は聖徒を迫害する。

\*小羊は柔軟であるが、獣はどう猛である。

\*小羊は愛に溢れているが、獣は残忍である。

(4) 大患難時代の中間期から後半にかけて、偽の三位一体が登場する。

①12章でサタンが登場する（偽の父なる神）。

②13章前半で反キリストが登場する（偽の子なる神）。

③13章後半で偽預言者が登場する（偽の聖霊なる神）。

2. アウトライン

- (1) 獣の形状（1～2節）
- (2) 獣の復活（3～4節）
- (3) 獣の支配（5～8節）
- (4) 励ましのことば（9～10節）

3. 結論：反キリストはキリストの真似をする。

反キリストの働きについて学ぶ。

I. 獣の形状（1～2節）

1. 1節

Rev 13:1 また私は見た。海から一匹の獸が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。

- (1) 黙12:18は、13:1に含まれるべきものである。

Rev 12:18 そして、彼は海べの砂の上に立った。

①海から獸が上がってくる。

- (2) ダニエル書2章（ネブカデネザルが夢で見た大きな像の幻）

\*人間の視点から見た異邦人世界の帝国の歴史

- (3) ダニエル書7章（ダニエルが見た4つの幻）

①第1の幻：3頭の大きな獸

\*第1の獸は獅子のようだが、鷲の翼をつけていた（バビロン帝国）。

\*第2の獸は熊に似ているが、きばの間には3本の肋骨があった（メド・ペルシヤ連合帝国）

\*第3の獸は豹のようだが、背には4つの翼があり、4つの頭があった（ギリシア帝国）

②第2の幻：第4の獸（帝国主義）

\*いかなる獸にもたとえられない異様な姿をしていた。

\*大きな鉄のきばと10本の角を持っていた（10本の角は10人の王）。

\*11本目の小さな角が出てきて、初めの角のうち3本が引き抜かれた。

\*この小さな角は人格を持ち、豪語する口を持っていた（反キリスト）。

③第3の幻：天の法廷

④第4の幻：人の子のような方

(4) 黙13:1の獸は、ダニエル書7章の第2の幻に登場する第4の獸と同じである。

①獸は、反キリスト自身であり、反キリストが支配する帝国である。

②反キリストは、異邦人世界から登場する。

(5) 「十本の角」

①動物は角を武器にして戦う。

②角は、力と支配の象徴である。

③角は、王国や王を象徴する言葉である。

④反キリストは、10ヶ国連合の帝国主義から登場する。

⑤角にある10の冠は、統治権の象徴である。

(6) 「7つの頭」

①第4の帝国の7つの発展段階を指す。

②第7の頭が、反キリストの統治段階である。

③「神をけがす名」とは、反キリストの性質を表す名である。

## 2. 2節

Rev 13:2 私の見たその獸は、ひょうに似ており、足は熊の足のようで、口は獅子の口のようであった。竜はこの獸に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。

(1) ダニエル書7章

①獅子、熊、ひょうの順番に登場した。

②ダニエル書では、将来の歴史を展望している。

(2) 黙示録13:2

①ひょう、熊、獅子の順番になっている。

②黙示録では、過去を振り返っている。

③第4の帝国には、その前の3つの帝国の特徴が残っている。

\*非常にどう猛で力がある。

(3) 竜（サタン）は、この獸に自分が持っている力と位と権威を与えた。

①どう猛な獸（反キリスト）は、さらに力を得た。

\*反キリストの最終的な力は、サタンから来る。

\*偽の三位一体の「偽の子なる神」が誕生した。

②キリストは、サタンの申し出を拒否された（マタ4:8～10）。

Mat 4:8 今度は悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその

栄華を見せて、

Mat 4:9 言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」

Mat 4:10 イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ』と書いてある。」

## II. 獣の復活（3～4節）

### 1. 3～4節

Rev 13:3 その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、

Rev 13:4 そして、竜を拝んだ。獣に権威を与えたのが竜だからである。また彼らは獣をも拝んで、「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう」と言った。

(1) 「その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、」

- ①ネロ、イスカリオテのユダ、ムッソリーニ、ヒトラー、スターリンなど？
- ②文脈上は、過去の人物ではなく、将来登場する反キリストである。
- ③反キリストは、殺される。

(2) 「その致命的な傷も直ってしまった」

- ①反キリストは、復活する。
- ②反キリストは重傷を負っただけだと主張する学者もいる。
- ③黙5：6に「ほふられたと見える小羊」という言葉が出ている。
- ④「打ち殺されたかと思われた」は、死んだことを意味する。
- ⑤復活した反キリストは、2人の証人を殺す（黙11：7で学んだ）。

Rev 11:7 そして彼らがあかしを終えると、底知れぬ所から上って来る獣が、彼らと戦って勝ち、彼らを殺す。

(3) 地上の人たちは、超自然的な力を発揮した獣に従うようになる。

- ①反キリスト復活のニュースは世界を巡ることであろう。
- ②復活した2人の証人は、天に上げられて地上にはいない。
- ③人々の関心は、復活した反キリストに向かう。

(4) さらに、人々は竜を拝むようになる。

- ①サタンは、自らを神とし、礼拝されることを願う。

\*イザ14：12～17、エゼ28：11～19

- ②人々は、反キリストを通してサタンを礼拝するようになる。

③「だれがこの獸に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう」

④出15:11との対比

Exo 15:11 【主】よ。神々のうち、／だれかあなたのような方があるでしょうか。／だれがあなたのように、聖であって力強く、／たたえられつつ恐れられ、／奇しいわざを行うことができましょうか。

### III. 獣の支配（5～8節）

#### 2. 5～6節

Rev 13:5 この獸は、傲慢なことを言い、けがしごとを言う口を与えられ、四十二か月間活動する権威を与えられた。

Rev 13:6 そこで、彼はその口を開いて、神に対するけがしごとを言い始めた。すなわち、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちをののしった。

(1) 反キリストは、大患難時代の中間で自らを神とする。

①最初は、世界の問題を解決するダイナミックなリーダーとして登場する。

②しかし、途中から傲慢なことやけがしごとを言う。

③ついに、自分の像を神殿に置き、礼拝を迫る（マタ 24:15 参照）。

④2テサ 2:4

2Th 2:4 彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。

(2) けがしことを言う対象

①神の御名

\*神の存在そのもの

②幕屋（天とそこに住む者たち）

\*天使と聖徒たち

#### 2. 7～8節

Rev 13:7 彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。

Rev 13:8 地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼を拝むようになる。

(1) 反キリストは、聖徒たちを迫害する。

①さらに多くの殉教者たちが出る。

②黙6:11 参照

③ユダヤ人も、異邦人の信者も迫害される。

(2) 反キリストによる世界統治

- ①政治的統治
- ②経済的統治
- ③宗教的統治

(3) 天と地の対比

- ①天にいる者たちは、神と小羊を礼拝する。
- ②地にいる者たちは、悪魔と反キリストを礼拝する。

(4) 救われる者の名は、永遠の昔から小羊のいのちの書に記されている。

- ①エペ1:4 参照
- ②そうでない者は、悪魔と反キリストを礼拝するようになる。

#### IV. 励ましのことば (9~10節)

##### 1. 9節

**Rev 13:9 耳のある者は聞きなさい。**

(1) 黙2~3章の7つの教会への勧告と似ている。

**Rev 2:7 耳のある者は御靈が諸教会に言われることを聞きなさい。**

- ①ここでは、より簡単なことばになっている。
- ②教会はすでに携挙されている。

##### 2. 10節

**Rev 13:10 とりこになるべき者は、とりこにされて行く。剣で殺す者は、自分も剣で殺されなければならない。ここに聖徒の忍耐と信仰がある。**

(1) 神の正義は必ず行われる。

- ①反キリスト、偽預言者、反キリストの手先は、燃える火の池に投げ込まれる。

(2) 聖徒たちは、神の正義がなることを確信して生きる。

- ①忍耐と信仰を保持するための根拠となる。

**結論：反キリストはキリストの真似をする。**

1. キリストは神である。反キリストは、自らを神と宣言する。

(1) ヨハ 10:36

Joh 10:36 『わたしは神の子である』とわたしが言ったからといって、どうしてあなたがたは、父が、聖であることを示して世に遣わした者について、『神を冒涜している』と言うのですか。

(2) 2テサ 2:4

2Th 2:4 彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。

2. キリストは奇跡を行わされた。反キリストはその真似をする。

(1) マタ 9:32～33

Mat 9:32 この人たちが出て行くと、見よ、悪霊につかれて口のきけない人が、みもとに連れて来られた。

Mat 9:33 悪霊が追い出されると、その人はものを言った。群衆は驚いて、「こんなことは、イスラエルでいまだかつて見たことがない」と言った。

(2) マタ 24:24

Mat 24:24 にせキリスト、にせ預言者たちが現れて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。

(3) 2テサ 2:9～10

2Th 2:9 不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、

2Th 2:10 また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行われます。なぜなら、彼らは救われるためには真理への愛を受け入れなかつたからです。

3. キリストは多くの王冠をかぶられる。反キリストは10の王冠をかぶる。

(1) 黙 19:12

Rev 19:12 その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。

(2) 黙 13:1

Rev 13:1 また私は見た。海から一匹の獣が上つて来た。これには十本の角と七つの頭とがあつた。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があつた。

4. キリストは白い馬に乗られる。反キリストも白い馬に乗る。

(1) 黙 19:11

Rev 19:11 また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗つた方は、「忠実ま

た真実」と呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。

(2) 黙6:2

Rev 6:2 私は見た。見よ。白い馬であった。それに乗っている者は弓を持っていた。彼は冠を与えられ、勝利の上にさらに勝利を得ようとして出て行った。

5. キリストは復活された。反キリストも復活する。

(1) マタ28:6

Mat 28:6 ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらんなさい。

(2) 黙13:3

Rev 13:3 その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、

6. 私たちへの適用

(1) 反キリストの靈は、今も働いている。

(2) それゆえ、常にすべての教理を吟味する必要がある。

(3) 聖書に親しんでいるなら、感覚的に非聖書的教理をキャッチすることができる。

(4) その上で、厳密にみことばに照らして学べばよい。